

## 会議録

会議の名称	第13回 西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会
開催日時	平成26年3月15日（土曜日） 午前11時から11時40分まで
開催場所	保谷庁舎 東分庁舎地下会議室
出席者	委員：伊藤会長、貫井副会長、長谷川委員、本橋委員、町田委員、黒岩委員、山田委員、高井委員、坂本委員、柴田委員 事務局：萱野課長、五十嵐課長補佐
議題	1 開会 2 議題 （1）西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施報告書について （2）都市農業フォーラムについて 3 その他
会議資料の名称	資料 西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施報告書 参考資料 第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○会長： 定足数に達しているので、ただ今より、第13回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会を開催する。 傍聴者の確認を行いたい。</p> <p>○事務局： なし。</p> <p>○会長： 次に資料の確認を事務局より行う。</p> <p>○事務局： （配布資料の確認） 資料 西東京市都市と農業が共生するまちづくり実施報告書 参考資料 第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議録（案）</p> <p>○会長：</p>	

次に前回会議録の確認を事務局より行う。

○事務局：

第12回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会会議録を1月30日付けで各委員に発送し、2月10日までに意見聴取をした。2名の委員より、修正・訂正の連絡をいただき、落字・誤字等の修正を行った。本日、参考資料として配布している会議録は、修正を反映している。

○会長：

会議録を承認し、公開することに異議はないか。

○委員一同：

異議なし。

○会長：

異議なしということなので、会議録を承認して公開することとする。

## 2 議題

### 議題(1) 西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施報告書について

○会長：

事務局より「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施報告書」について、説明をお願いしたい。

○事務局：

(資料の説明)

○会長：

前回の推進委員会でも話したように、本推進委員会は4年間に渡って様々な議論を行い事業を進めてきた。このように実施報告書が作成されて、本日をもって推進委員会が終了することとなった。実施報告書をご覧いただき、委員の皆さんから一言ずつ感想をいただきたい。

委員：

事務局からの説明と実施報告書を拝見して、4年間で色々なことをやってきたなど改めて感じた。朝の散歩で多摩湖自転車道路をよく通るが、案内看板(風景の窓)や樹木プレートを目にすると、自分も多少この事業に携わったんだなど嬉しく感じている。本事業は、第2次西東京市農業振興計画の方で引き継がれると聞いているので、これまでの経験を活かして進めてもらいたい。

委員：

私は、今年1年間だけの参加だったが、JA東京みらいの管内でも、西東京市ほど、このまちづくり事業のように力を注いでいる市はないのではないかと感じた。JAの職員として、とても嬉しく思っている。

○委員：

平成25年度からという短い期間ではあったが、お世話になった。ファームカーの製作に当っては、農家の方々からも完成を楽しみにしているという声を多数聞いている。

ファームカーは、今後イベント等での活用がされるということなので、より一層西東京市の農をPRできるように協力していきたい。

委員：

平成22年8月の第1回目の委員会から、こんなに長い時間かけて、委員皆様と事務局でここまでまとめ上げたことに、お礼を申し上げる。特に、前回の第12回推進委員会でのイメージビデオの試写で、事業全体のイメージがとても湧いてきた。やはりビデオ等の映像をとおすと、事業一つ一つのイメージがつかみやすく、はっきりとした。会長、副会長をはじめ、委員の皆様には、大変お世話になった。

委員：

委員会には、最後の2か年参加させていただいたが、本事業をとおして市内の児童が農業に関わるとができるのは、大変ありがたい機会だと思っている。私たちは、来年度よりスタートする新しい教育計画を策定している。その計画の中では、子どもたちが環境学習を行ったり、地域を知るといような取組みを掲げている。具体的には、「農業体験」「学校農園」「給食への地場野菜の利用」等、色々な部分でこれからも協力をお願いしたいと思う。委員の皆さん、また特に事務局は色々苦労があったかと思う。感謝申し上げます。

会長：

本事業については、第2次西東京市農業振興計画に基づき、これからの10年間でも続けられていくが、まちづくり事業が、教育の計画の中にも具体的に反映されるとより良いと思っている。

委員：

事務局には色々苦労があったと思い、その点はとても感謝している。みどり公園課は緑地の保全という立場で、本推進委員会には参加させていただいた。また、緑のアカデミー等も拝見させてもらったり、農とのふれあい散歩道づくりでは、みどり公園課で発行している「みどりの散策マップ」と連携もさせてもらった。今後も緑の保全という立場から、農地の保全は大変重要な課題だと思っているので、何らかの形で連携し協力をしていきたいと思う。

委員：

委員として3年間本事業に携わらせてもらった。なかなか参考になるような意見を述べる事ができずに、申し訳なかったと思っている。会長、副会長、また公募市民の委員の方々の非常に活発な意見に、大変盛り上がった委員会だったと思う。私の部署は「はなバス」を運行している部署で、農とのふれあい散歩道等では、「はなバス」のルートと連携することで、多少なりとも事業に協力できたのではないかとと思っている。今後は、東大農場のキャンパス整備において、まちづくりの観点からの地区計画が導入

されることになると思う。ここ数年の間に地区計画を立てて、極力緑地を保全していきたいと考えている。

会長：

東大生態調和農学機構の事業については、懸案事項が色々とあり、都市計画道路がテーマとなったりもした。今回、実施報告書の中では、西東京市の土地利用についての歴史を振り返る資料もあり、市内の農地の歴史を改めて実感できる。これまでの「都市農業フォーラム」では、武蔵大学の後藤先生が、都市農業・農地の保全に関して具体的な話を紹介していただいた。この事業が、農地の多面的機能の発揮も含め、都市農業・農地の保全につながることを期待している。

委員：

他の区市のまちづくり事業も担当をしているが、西東京市の推進委員会では、市全体をとおしての議論が活発にされたことが非常に印象的である。実施報告書を拝見して、西東京市は幅広く、また盛りだくさんに事業を推進したと思う。当初はどこまで実施することが可能か、不安に思うこともあったが、委員会での意見の積み重ねと、事務局の相当の努力があったからこそ、成し遂げられたのではないか。また、農家の方々も普段は個々で農業を営んでいるので、事業への理解と協力を得るのが当初は難しかったように思うが、徐々に皆さんの理解を得られるようになった。農家の皆さんも前向きに事業へ協力していただき、結束力が高まったことが、とても印象的である。

これまでの努力の積み重ねにより、事業が成功したように思う。今後も継続して本事業を進めていくということなので、東京都としても何らかの形で協力を続け、西東京市のまちづくり事業がもっと花開いていけばと思っている。

会長：

西東京市は幅広く事業を展開してきたが、前向きな表現として、「最小限の範囲」から事業を始めていったように思う。「小さい種蒔」をした5年間だったのではないか。そういう意味では、本事業は完成ではなく、これからがスタートなのではないかと思う。

委員：

東京都で本事業を始めたきっかけとして、市街化区域内の農地や農業者の減少がある。このことについて、農家の方々に任せるだけではなく、行政や関係機関が、農地を保全するということも含めてまちづくりをしていかないと、農地減少を食い止めることができないという視点によるものだった。また、都民へアンケートを実施した際に、「自分が住んでいる地域の中に農地を残したい」という意見が80パーセント以上あった。そのような経緯があり、モデル事業を展開するということから、本事業が始まった。

これから各地域でこのようなモデルを展開し、さらにまちづくり事業が広がってほしい。今回、本事業で積み残した東大農場との連携についても、今後のまちづくりの中心と位置付けて、事業を進めてもらえればと思う。東京都としても、何らかの支援ができればと思う。西東京市に、農あるまちづくりの機運がずっと高まっていくことを願っている。

副会長：

モデルプランの策定から事業実施まで、5年間携わらせていただいた。最初に委員就任の話をいただいた時は、非常に大きな命題をいただいてしまったと思った。委員として色々考えることもあったが、エリア毎にテーマを作ってうまくまとめたと思う。

東大農場については、本事業の中でもコア施設となる予定ではあったが、キャンパス計画の都合もあり、実行はできなかった。しかし、実行ができなくても、農業普及啓発プロジェクトとして趣を変えて、展開することができた。また、色々なソフト事業も含めて、先ほどの意見でも出たように、盛りだくさんな事業となった。事業全体として、いかに市民に知ってもらえるかがテーマとなるので、市民とのふれあいという命題が一つ達成できたのではないかな。

農のアカデミーでは、幼稚園や小学校などの小さな子どもたちが農と触れ合うことができ、将来そういう芽が育っていくことを期待している。本事業は、これで終了となるが、今後これをスタートとして東大農場との連携を最後の仕上げとして、西東京市としても協力できる面では協力をして、進めていければと思う。大勢の方々に協力をしていただいて、ここまで事業を進めることができて、大変感謝している。

## **議題 (2) 都市農業フォーラムについて**

○事務局：

本日午後1時より、別棟A・B・C会議室で都市農業フォーラムを開催する。各委員は、再度参集していただきたい。

### **3 その他**

会長：

委員皆さん、又は事務局から何かあればお願いしたい。

事務局：

本日、最終の委員会となるので、本日の会議録は、後日郵送させてもらい、委員全員の了解をいただいて、公開の手続きを取りたいと考えている。

○会長：

以上をもって、第13回西東京市都市と農業が共生するまちづくり推進委員会を閉会する。併せて、本日の会議をもって、本推進委員会を解散する。

長期間、大変お疲れ様でした。

(閉会)